

宮城県感染症発生動向調査情報(第40週)

宮城県【平成26年10月09日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

- 2014.9.29 ~ 10.5 ・ 第40週 -

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)				今週の全数報告疾病			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第37週		第38週	第39週	第40週
水痘	10 2.00	4 0.40	2 0.40			5 1.00		17 0.65	38 0.66	1,552	○→	○→	○→	○	
流行性耳下腺炎		1 0.10		3 1.50	1 0.33			17 0.65	22 0.38	525	→	→	→		
百日咳											→	→	→		
感染性胃腸炎	21 4.20	20 2.00	5 1.00	4 2.00	12 4.00	2 0.40		74 2.85	138 2.38	14,993	◎→	◎→	◎→	◎	
手足口病		1 0.10	1 0.20					10 0.38	12 0.21	306	→	○→	レ→		
伝染性紅斑	1 0.20	2 0.20	1 0.20	2 1.00	6 2.00	10 2.00	1 0.50	18 0.69	41 0.71	2,054	○→	レ→	○→	○	
突発性発しん		4 0.40	5 1.00		2 0.67	3 0.60	1 0.50	11 0.42	26 0.45	1,552	○→	○→	○→	レ	
ヘルパンギーナ	10 2.00	25 2.50	5 1.00	4 2.00	1 0.33	3 0.60	2 1.00	28 1.08	78 1.34	2,328	◎→	◎→	◎→	◎	
インフルエンザ	2 0.25					1 0.13			3 0.03	28,910	→	→	→		
咽頭結膜熱								10 0.38	10 0.17	550	→	→	→		
流行性角結膜炎						1 1.00		4 0.67	5 0.42	129	→	→	→		
急性出血性結膜炎											→	→	→		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5 1.00	10 1.00		4 2.00	1 0.33	19 3.80		37 1.42	76 1.31	4,540	◎→	◎→	◎→	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→		
無菌性髄膜炎											→	→	→		
マイコプラズマ肺炎					1 1.00		2 2.00		3 0.25	336	→	→	→		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→		
RSウイルス感染症	6 1.20	2 0.20	1 0.20			1 0.20		9 0.35	19 0.33	467	→	→	→		
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2 4				7	5	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病	2						3	【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
	不明発疹症							3							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52						

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし ※男児、女兒は6歳未満
2類感染症: 結核
塩釜管内 男性1名(第39週)、女性1名
大崎管内 男性1名
石巻管内 女性1名(第39週)
仙台管内 男性1名
3類感染症: 報告なし
4類感染症: レジオネラ症
石巻管内 女性1名
5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 男性1名
アメーバ赤痢
塩釜管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント
— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —
【伝染性紅斑】
登米、石巻管内で警報継続中。
【ヘルパンギーナ】
塩釜管内で警報継続中。

【病原体検出情報】
～宮城県保健環境センター～
ヘルパンギーナ患者より
大崎管内 第38週採取分 エンテロウイルス(型不明) 2件
第39週採取分 コクサッキーウイルス(A10型) 1件
感染性胃腸炎患者より
塩釜管内 第38週採取分 ヒトパレコウイルス 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第38週採取分 (9.15～9.21)	第39週採取分 (9.22～9.28)	第40週採取分 (9.29～10.5)
パラインフルエンザウイルス1型	3件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス2型	2件	2件	0件
RSウイルス	2件	2件	1件
エンテロウイルス	1件	0件	1件
ライウイルス	0件	0件	1件

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第38週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.97)、高知県(0.19)、鳥根県(0.14)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1例と前週と比較して減少した。都道府県別では徳島県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,894例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(1.17)、群馬県(1.07)、三重県(0.76)、沖縄県(0.76)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鳥根県(2.45)、鳥取県(2.26)、山口県(1.75)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は大分県(6.44)、徳島県(4.91)、宮崎県(4.86)である。**水痘:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.22)、宮崎県(1.17)、大分県(1.06)である。**手足口病:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は石川県(2.69)、山口県(2.21)、愛媛県(2.08)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は福島県(0.07)、広島県(0.04)、徳島県(0.04)、福岡県(0.04)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は福島県(3.58)、北海道(3.01)、宮城県(2.76)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(1.00)、宮城県(0.92)、北海道(0.70)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は増加した。7府県から8例報告があり、年齢別では0歳(3例)、1～4歳(3例)、5～9歳(1例)、70歳以上(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数